

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス千駄木教室			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数)	47
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日 ～ 2025年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人一人の子どもや保護者へ寄り添った支援	・子どもを細かにみて知ることや保護者と丁寧にお話すること、指導員の基本姿勢として徹底し、そのために必要な知識、技術を得ることが出来る環境づくり。 ・子どもや保護者について気付いたこと、得た情報等を指導員間で共有し、その後の対応、支援に活かしている。	・細やかな観察力や細やかな対応からニーズを引き出し、それを適切な支援と繋げていく力の向上に向け、発達や支援についての知識を更に深める為に、外部研修の積極的な活用。
2	・職員間の強みに合わせた業務担当と連携	・指導員自身が、自分の強みに気づき、それを業務に積極的に活かし、他の指導員をリードしていく職場づくり。 ・個々の職員がそれぞれの強みに合わせた業務を担当し、連携することで事業所全体の運営がスムーズになるようにしている。	・指導員の強みは、自分で気づくだけではなく、他職員のものも互いに積極的に気づくようにすることで、事業所全体として強み・パワーの発掘を促していく。 ・自身の強みを活かした仕事により、個々の指導員の仕事へのモチベーションの向上、その相互作用によって事業所全体の力の向上へと繋げていく。
3	・子どもの心のよりどころとなれる環境	・子どもに寄り添い、その子の興味関心を知り、それを積極的に支援に活かすようにしている。 ・「子ども面談」を行うことで、集団の中では聞かれない子どもの気持ちを聞く機会を持ち、子どもたちが受け止められているという安心感をもてるようにしている。	・子どもとの関わりの中で、様子や心の変化に敏感であることを心掛け、気づいたことや感じたことを職員間で共有し、子どもにとって安心できる居心地の良い環境を整えるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・関係機関との連携が十分に取れていない	・子ども一人一人の関係機関やその役割を十分に把握していない。 ・他機関と関わりを持つ方法が限られ、適切なタイミングで連携が取れない。	・保護者に振り返りや面談時などに連携について伝え、子どもが教室外の生活で学校をはじめどのような関係機関と関わりながら生活をしているのかを聞く機会を積極的にもつ。 ・外部の研修に積極的に参加し、関係機関と繋がる努力、顔を合わせ話しをする機会を多くもち、連携時にスムーズに動けるようにする。
2	・保護者支援	・ペアレントトレーニング等の専門的な支援の知識や技術を持っていない。 ・保護者のニーズが把握できないために、適切な支援を行えない。	・ペアレントトレーニング等をはじめ、保護者支援に必要とされる知識や技術を習得するために、外部での研修に積極的に参加し、それを職員で共有し、事業所全体としての支援力を上げる。 ・保護者からの丁寧な聞き取りやアンケートを行うことにより、ニーズの把握に努める。
3	・危機管理、安全管理	・マニュアルの保護者への周知が十分でない。 ・実際の場面でマニュアルがスムーズに適切に機能するかどうかの検証が足りていない。	・マニュアルの存在を保護者に改めて伝え、周知の促し。特に必要なところがあれば抜粋し、通信を通し周知を徹底する。 ・既存のマニュアルのもと、訓練やシュミレーション等を行い、実際の場面でスムーズに適切に機能するよう指導員の役割分担も明確にしておく。振り返りを通し、マニュアルの見直しなどを行う。